

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年7月29日

上場会社名 株式会社エーアイ 上場取引所 東
 コード番号 4388 URL <https://www.ai-j.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣飯 伸一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理グループ統括 (氏名) 前田 忠臣 TEL 03 (6801) 8402
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	161	5.1	△9	—	△9	—	△7	—
2022年3月期第1四半期	153	—	8	—	6	—	4	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△1.44	—
2022年3月期第1四半期	0.88	—

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期第1四半期の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,324	1,245	94.0
2022年3月期	1,354	1,279	94.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,245百万円 2022年3月期 1,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	383	16.3	51	17.9	51	26.1	36	16.8	7.13
通期	800	5.7	140	24.9	140	27.6	100	19.4	19.82

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	5,168,000株	2022年3月期	5,168,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	130,569株	2022年3月期	120,069株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	5,046,551株	2022年3月期1Q	5,047,972株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され、経済活動は正常化への動きが見られるものの、長期化するロシア・ウクライナ情勢の懸念等により、世界的な原材料価格の高騰や半導体の不足、金融資本市場の変動等、依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社を取り巻く環境においては、「緊急防災・減災事業債」における地方交付税措置が、当初令和2年度までとされていたことに伴い、防災案件が2021年3月期までに集中したことによる反動と、半導体不足による防災メーカーの入札控えにより、防災案件での売上げが低調に推移し、また、コロナ禍に伴う企業のテレワーク、学校のオンライン授業におけるeラーニング教材・動画等のナレーション作成用途での「AITalk® 声の職人®」、 「AITalk® 声プラス®」等のパッケージ製品の需要増加も落ち着きが見られております。一方で、セレンス社との取り組みにおいて車載分野以外でのロイヤリティ収入に加えてコンシューマー製品の需要拡大が寄与した結果、前第1四半期累計期間を上回る売上高となりました。

利益面につきましては、下期偏重型の売上構造から均一化が進んでいるものの、依然として通期の売上高に対する第1四半期売上高の比率が低い傾向にあり、増員による人件費の増加、コンシューマー製品の売上が好調に推移したことに伴うロイヤリティ等の外部への支払いの増加および売上拡大を目的とした広告宣伝費・販売促進費の増加を吸収しきれず、赤字を計上いたしました。

当社は需要が拡大している分野への拡販に向けて、営業・研究開発体制の強化を進めるとともに、個人向けオリジナルブランド「A. I. VOICE®」において、6月より中国市場でのプロモーションを開始し、9月より中国語音声読み上げソフト「Kotonoha Talk」を発売するとともに、国内向けの日本語新キャラクターを順次発売する予定です。その他、セレンス社との連携の強化、名古屋工業大学徳田・南角・橋本研究室との共同研究を進めております。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は161,747千円（前年同期比5.1%増）、営業損失は9,848千円（前年同期は営業利益8,341千円）、経常損失は9,867千円（前年同期は経常利益6,666千円）、四半期純損失は7,288千円（前年同期は四半期純利益4,426千円）となりました。

なお当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、特性に応じた3つの区分別の売上高につきましては、法人向け製品69,253千円（前年同期比8.8%減）、法人向けサービス46,037千円（同11.5%減）、コンシューマー向け製品46,457千円（同79.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して30,800千円減少し、1,324,131千円となりました。これは主に流動資産のその他に含まれる預け金が90,687千円増加したものの、現金及び預金が116,287千円、受取手形、売掛金及び契約資産が13,037千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して3,568千円増加し、78,894千円となりました。これは主に未払法人税等が2,464千円減少したものの、流動負債のその他に含まれる未払消費税が6,811千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して34,368千円減少し、1,245,237千円となりました。これは四半期純損失7,288千円及び剰余金の配当17,667千円により利益剰余金が24,955千円減少、自己株式が9,413千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は94.0%（前事業年度末は94.4%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想については、2022年5月13日公表の「2022年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありませんが、今後の事業環境の推移や業績の進捗を注視し、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,179,476	1,063,189
受取手形、売掛金及び契約資産	92,966	79,929
商品及び製品	5,361	5,326
仕掛品	1,530	1,090
原材料及び貯蔵品	2,862	2,712
未収還付法人税等	8,704	8,190
その他	22,502	120,182
流動資産合計	1,313,404	1,280,621
固定資産		
有形固定資産	18,184	16,722
無形固定資産		
ソフトウェア	3,928	9,142
ソフトウェア仮勘定	3,651	-
無形固定資産合計	7,579	9,142
投資その他の資産	15,763	17,644
固定資産合計	41,527	43,509
資産合計	1,354,931	1,324,131
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,555	7,710
リース債務	689	696
未払法人税等	3,911	1,447
契約負債	4,294	5,567
前受収益	14,291	15,980
その他	41,944	45,109
流動負債合計	72,686	76,510
固定負債		
リース債務	2,109	1,933
長期前受収益	530	450
固定負債合計	2,639	2,383
負債合計	75,326	78,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	151,481	151,481
資本剰余金	206,135	206,135
利益剰余金	1,121,808	1,096,853
自己株式	△199,820	△209,233
株主資本合計	1,279,605	1,245,237
純資産合計	1,279,605	1,245,237
負債純資産合計	1,354,931	1,324,131

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	153,861	161,747
売上原価	26,198	39,887
売上総利益	127,663	121,860
販売費及び一般管理費	119,322	131,708
営業利益又は営業損失(△)	8,341	△9,848
営業外収益		
講演料収入	40	18
営業外収益合計	40	18
営業外費用		
支払利息	34	27
支払手数料	1,680	-
自己株式取得費用	-	9
営業外費用合計	1,714	37
経常利益又は経常損失(△)	6,666	△9,867
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	6,666	△9,867
法人税、住民税及び事業税	153	204
法人税等調整額	2,087	△2,783
法人税等合計	2,240	△2,579
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,426	△7,288

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。